令和５（2023）年度 資源評価調査報告書（新規拡大種）

種名	コウイカ	対象水域	唐津湾
担当機関名	水産研究・教育機構　水産資源研究所　浮魚資源部、福岡県水産海洋技術センター、佐賀県玄海水産振興センター	協力機関名	

1. 調査の概要

唐津湾における福岡県および佐賀県の漁業種別漁獲量の収集、整理を行った（福岡県は唐津湾関係漁協のデータ、佐賀県は標本市場である玄海漁協魚市のデータを使用）。

唐津湾内で漁獲されたコウイカについて、福岡県は2021年780個体、2022年365個体、佐賀県は2021年25個体、2022年67個体の外套長・体重・生殖腺重量の測定を実施し生物学的特性に関する調査を行った。

2. 漁業の概要

唐津湾はコウイカ漁の重要な漁場となっており、2007年から2022年にかけての漁獲量は、福岡県海域では増減を繰り返し2013年に最大値59.1トン、2020年に最低値7.9トン。2022年の漁獲量は15.4トンで、直近5年（2017～2021年）平均値の57%であった（表1）。

佐賀県海域ではおおよそ7トン前後で推移し2021年に最大値10.4トン、2017年に最低値4.0トンであった。2022年の漁獲量は5.3トンで、直近5年（2017～2021年）平均値の88%であった（表2）。

唐津湾全体の漁獲量は2007年から2013年にかけて41～67トンで推移していたものの、2014年以降は2021年の漁獲量増を除き13～39トンの範囲で推移している（図1）。

2007年から2022年にかけて福岡県の漁獲が唐津湾の約85%を占めている。

福岡県では「いかかご」による漁獲が主である（表1、図2）。佐賀県では「小型底びき網」、「小型定置網」等様々な漁業種類で漁獲される（表2、図3）。

2022年の唐津湾の月別漁獲量を見ると、2月から5月にかけて漁獲され（図4）、ピークは福岡県、佐賀県ともに3月であった(図2、3)。

3. 生物学的特性

(1) 分布・回遊：新潟県～九州南岸の日本海・東シナ海沿岸、岩手県～九州南岸の太平洋沿岸、瀬戸内海に分布する（古井戸ほか 1956）。2～5 月に水深 50 m 以浅の沿岸域一帯に成体が来遊・産卵する。1～2 ヶ月後に孵化し、水深 15 m 以浅に着底、9 月頃まで成長すると、10～12 月は水深 50 m 以深の沖合に分布し、成熟するにつれて産卵のため沿岸域に来遊する（秋元・大村 1999）。

(2) 年齢・成長：寿命は 1 年である（古井戸ほか 1956）。福岡県の本種の外套長（2022 年）は 2 月から 4 月にかけて 12～19 cm、5 月には 13～20 cm（主に 15～16 cm）であった。漁獲量が少なかったため 8～9 月は確認できず、10 月になると 10～15 cm の小型個体が漁獲されるようになった。佐賀県の外套長は、4 月を除き 2 月から 5 月にかけて 13～20 cm で、8 月になると 10～13 cm の小型個体が漁獲されるよ

うになった。福岡県、佐賀県ともに 1、6～7、11～12 月のデータはなかった（図 5）。
(3) 成熟・産卵：唐津湾コウイカの生殖腺指数（2022 年）は雌雄とも 2～5 月に高い値を示した（図 6）。また、福岡県の漁獲個体の生殖腺指数は、雌雄ともに佐賀県よりも高い傾向が見られた（図 6）。
(4) 被捕食関係：甲殻類、底生魚類等を捕食（奥谷 1979）。

4. 資源状態

佐賀県の漁獲傾向は横ばいであるが、福岡県の漁獲量は変動が大きく唐津湾全体の資源動向に影響しているため、今後も傾向を注視する必要がある。

5. その他

唐津湾におけるコウイカは、冬期の数少ない漁獲物の一つであり、重要な魚種である。

コウイカの漁獲量は増減を繰り返していることから、コウイカの移動生態等の生物特性や漁獲情報のさらなる収集を行うことで、資源状態の把握に努める必要がある。

コウイカの資源評価（新規拡大種）を行うなかで、移動生態等についてまだ不明な部分が多いため、対象水域を「唐津湾」に限定することが適当か検討する必要があると考えられる。今後、対象水域の判断を行うためにも、継続的な調査を行うことが望ましい。

6. 引用文献

秋元　聡・大村浩一 (1999) 資源管理型漁業推進総合対策事業（2）沿岸資源開発調査（コウイカ）. 平成 9 年度福岡県水産海洋技術センター事業報告, 13-16.

古井戸良雄・倉田洋二・川上武彦 (1956) 東京湾で獲れるコウイカ及びシリヤケイカの生態について. 水産増殖 3（3）, 40-50.

奥谷喬司 (1979) コウイカ目の分類と生態（3）頭足類の生物学④. 海洋と生物　4, Vol.1-No.4,65-71.

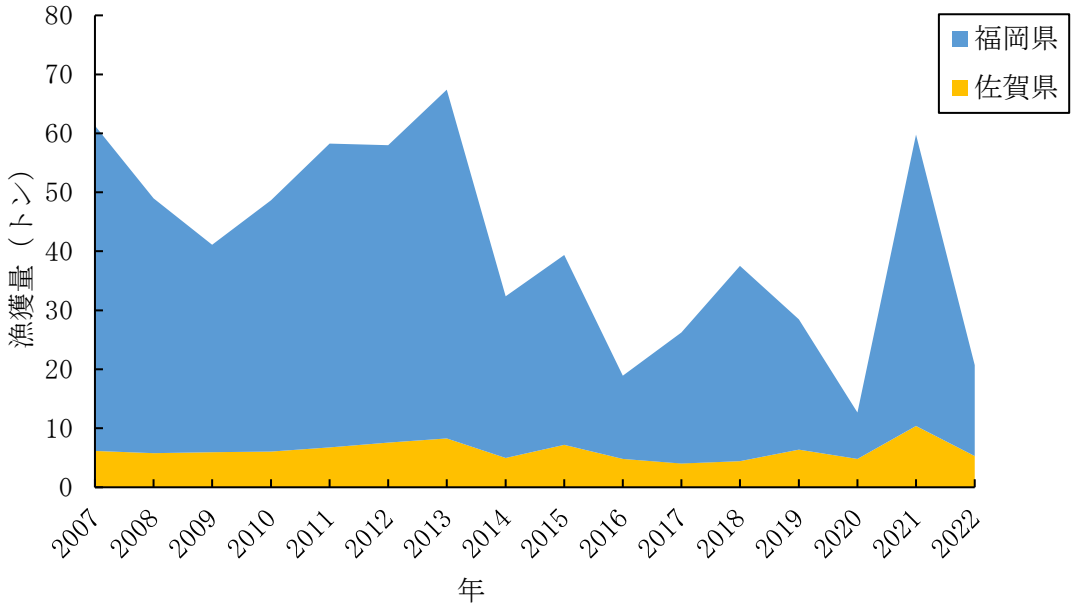

図 1．唐津湾（福岡県・佐賀県）県別コウイカ漁獲量の推移

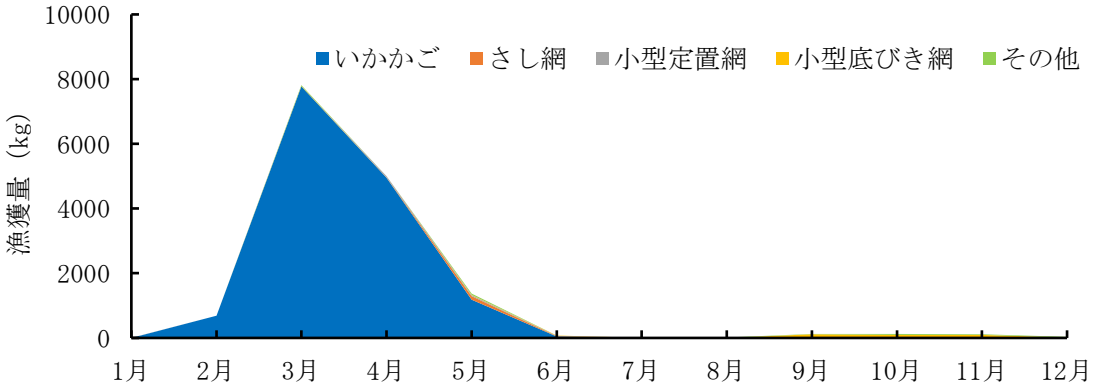

図 2．福岡県月別漁業種別漁獲量の推移（2022 年）

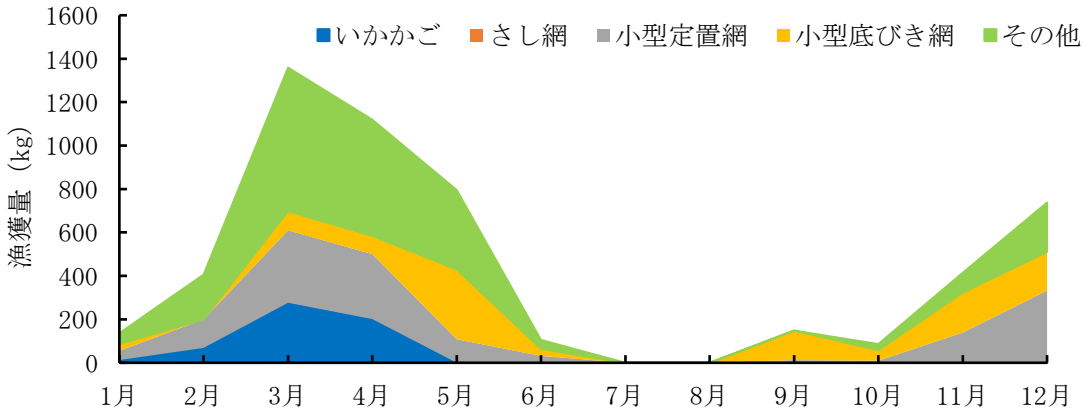

図 3．佐賀県月別漁業種別漁獲量の推移（2022 年）

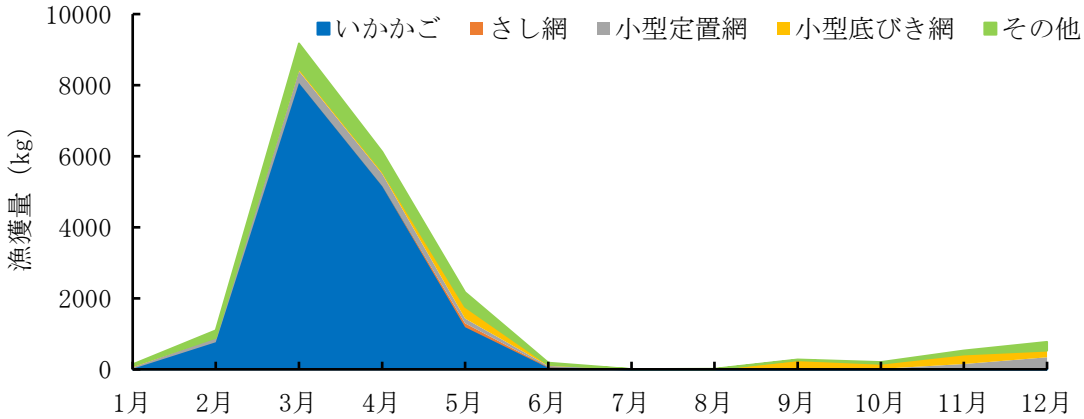

図 4．　唐津湾（福岡県・佐賀県）月別漁業種別漁獲量の推移（2022 年）

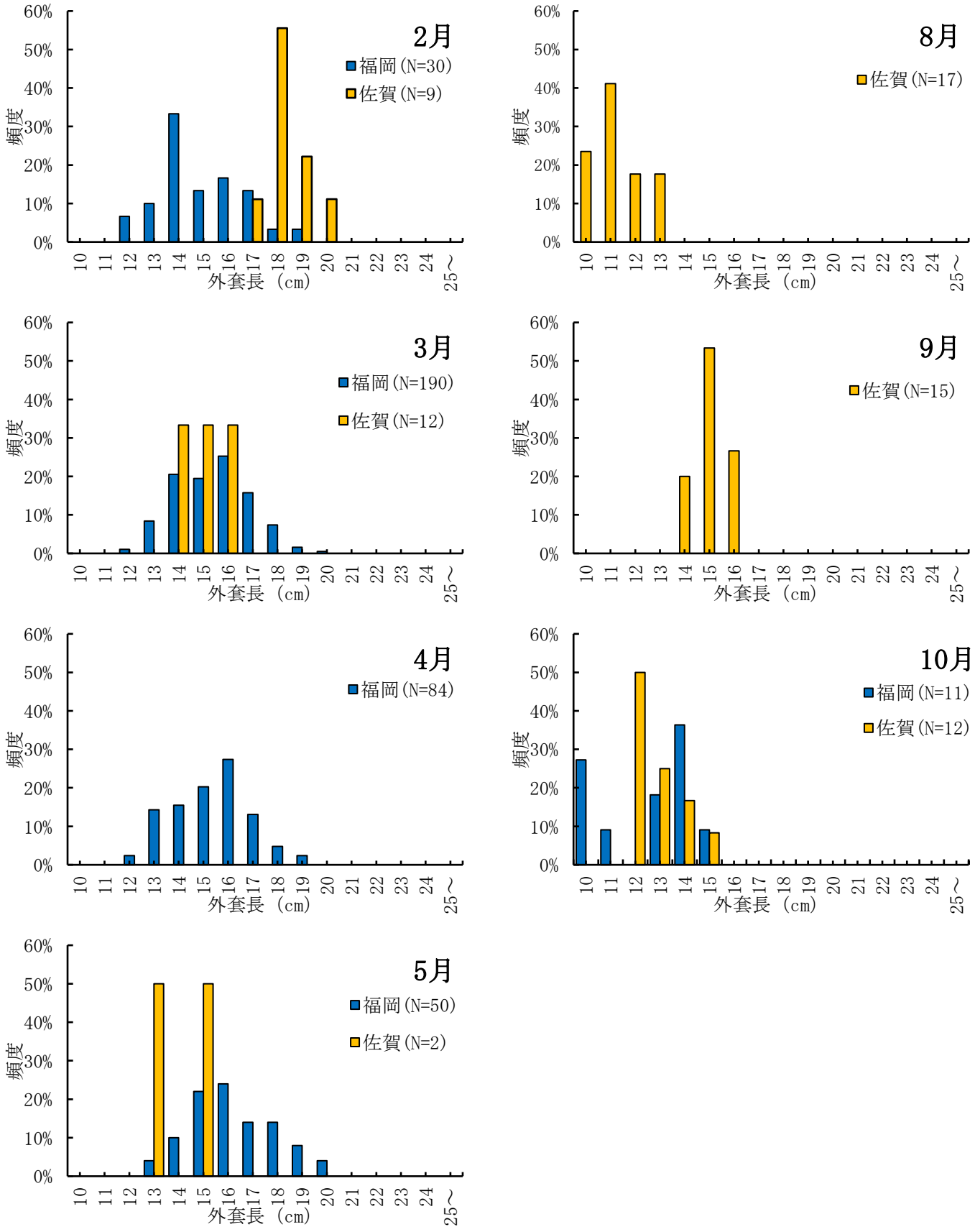

図 5．唐津湾（福岡県・佐賀県）における県別外套長組成の推移（2022 年）

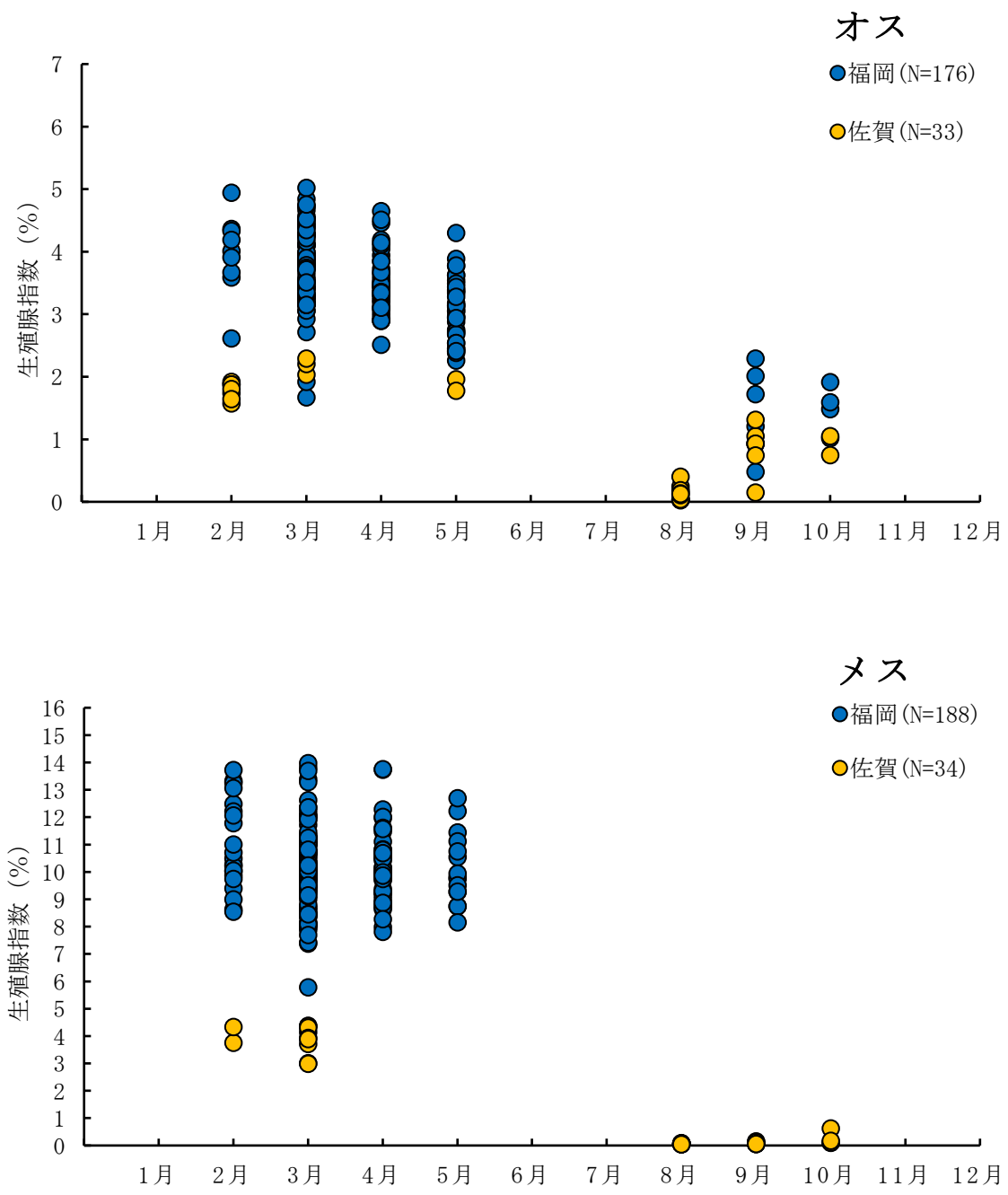

図 6. 唐津湾（福岡県・佐賀県）における県別雌雄別生殖腺指数の推移（2022 年）

表 1.　福岡県唐津湾における漁業種別年別漁獲量（トン）

	いかかご	さ し 網	小型定置網	小型底びき網	そ の 他	合計
2007	43.5	0.8	0.3	3.7	6.9	55.2
2008	38.1	0.6	0.3	1.8	2.4	43.2
2009	31.4	0.5	0.3	1.7	1.4	35.3
2010	40.3	0.2	0.3	1.5	0.5	42.7
2011	48.1	0.9	0.3	1.5	0.8	51.5
2012	47.2	0.5	0.2	1.5	1.0	50.4
2013	57.0	0.1	0.2	0.9	0.8	59.1
2014	26.5	0.3	0.3	0.2	0.1	27.4
2015	31.2	0.3	0.1	0.5	0.0	32.2
2016	13.0	0.1	0.0	0.8	0.1	14.1
2017	21.2	0.2	0.0	0.5	0.2	22.2
2018	30.4	1.6	0.1	0.7	0.3	33.1
2019	21.3	0.5	0.1	0.2	0.1	22.1
2020	7.4	0.2	0.1	0.2	0.0	7.9
2021	48.4	0.5	0.1	0.4	0.1	49.4
2022	14.6	0.1	0.1	0.3	0.2	15.4

表 2.　佐賀県唐津湾における漁業種別年別漁獲量（トン）

	かご類	さ し 網	小型定置網	小型底びき網	そ の 他	合計
2007	0.7	0.3	0.7	3.5	0.9	6.1
2008	1.8	0.4	1.0	2.5	0.1	5.8
2009	0.5	0.5	0.8	3.7	0.4	6.0
2010	1.3	0.4	1.5	2.6	0.1	6.0
2011	0.5	0.4	1.7	3.4	0.7	6.7
2012	0.4	0.1	1.0	5.5	0.5	7.6
2013	2.1	1.0	1.3	3.1	0.7	8.3
2014	0.8	0.8	0.9	2.2	0.2	5.0
2015	0.8	1.3	2.1	2.7	0.3	7.2
2016	0.5	0.7	1.4	2.2	0.1	4.8
2017	0.2	0.9	1.2	1.6	0.1	4.0
2018	0.1	1.4	1.8	1.2	0.0	4.4
2019	0.6	0.0	2.4	1.5	1.9	6.4
2020	0.5	0.2	1.1	1.7	1.2	4.8
2021	1.2	0.9	3.2	1.4	3.6	10.4
2022	0.6	0.0	1.4	1.1	2.2	5.3